

【講演 資料】

演題 「雅楽の伝承、私のライフスタイル」

すぎうら ひでのぶ
講師 杉浦 秀延 氏（5回生、環境工学科）



《プロフィール》

株式会社 衣浦商会 代表取締役
碧南市築山町 在住

「略歴」

昭和53年3月 愛知県立碧南工業高等学校 環境工学科 卒業
昭和57年3月 中部工業大学 工学部 工業化学科 卒業
昭和57年4月 住友海上火災保険（株）入社
昭和59年3月 // 退社
昭和59年4月 （株）衣浦商会 {家業} 入社
昭和62年4月～平成元年3月
愛知県立碧南工業高等学校 非常勤講師
平成4年1月 （株）衣浦商会 代表取締役に就任、現在に至る。

「取得資格」

危険物取扱者(甲種)、毒物劇物取扱者、高等学校一種免許状(工業) 等

《雅楽の経歴》

平成12年6月 碧南市大浜地区 西暦2000年記念事業として「いちひめ雅楽会」
（京都市）を招へいし舞楽公演をする。
平成14年5月 「いちひめ雅楽会」飛騨富久先生 {フランス文化勲章「シュバリエ賞」
受賞者} に手ほどきを受ける。
{参考 URL http://www.j-kyoto.ne.jp/j_kyoto/koe/25go/25-b/25b.html}
平成15年4月 碧南市立大浜小学校「雅楽クラブ」の設立に参画する。
毎年、秋の「てらまちウォーキング」で発表会を開催、現在に至る。
平成17年9月 碧南市 哲学たいけん村「無我苑」『観月の会』にて舞楽公演
平成18年3月 碧南市立大浜小学校 体育館 竣工記念 として舞楽公演
現在、「いちひめ雅楽会」愛知支部長 {URL <http://ichihime.net/gagaku/index.html>}

《雅楽をはじめませんか！》

五線譜の読めない音楽の苦手な私が、
雅楽を好きになったのは、独特なお稽古
方法「口伝」（くでん）に惹かれたからで
す。

雅楽は、8世紀頃集大成され今日まで
千数百年間継承された日本が世界に誇る
伝統音楽です。当会は、雅楽の正しい伝
承と後継者の育成を目指し、会員一同日
々研さんを重ねています。



碧南市立大浜小学校「雅楽クラブ」児童と共に

管絃 かんげん

管絃とは、管楽器の鳳笙（笙）・箏・龍笛（笛）と絃楽器の琵琶・琴・箏、それに打楽器の鞀鼓・太鼓・鉦鼓の、合わせて三管・二絃・三鼓より編成される。純粹器楽演奏（フルオーケストラ）の事を指す。

音取 ねとり

音取とは、曲の始まる前に、音律の調子を整え（チューニング）、その調子の零困気を作るために演奏する短い曲である。管と絃の第一奏者（主管）と鞀鼓が奏する。

まず、鳳笙から始まり、箏・龍笛が順に加わり、笛の時に鞀鼓が入る。そして笛の終わりから琵琶・琴・箏が入り、互いに音を受け渡しながら終わる。

越殿楽 えてんらく

唐楽。平調の管絃で、雅楽の中で最もよく知られている代表的な曲の一つである。今様や、黒田節、キリスト教の日本賛美歌にまで、このメロディーが用いられており、日本人には親しみやすい曲である。

舞楽 ぶがく

舞と音楽とで構成されるものが舞楽である。舞楽では舞を舞う者を「舞人」、演奏するものを「管方」と称する。

舞楽は、大陸伝来の「左方」と、朝鮮半島伝来の「右方」に大きく分類され、原則として、左方においては唐楽を、右方においては高麗楽を用いる。楽器編成もそれぞれ異なり、高麗楽では鞀鼓ではなく三ノ鼓を、龍笛ではなく高麗笛を用い、笙は用いない。

衣装の着付け

陵王 りょうおう

左方の走舞。別名を「蘭陵王」「竜王」。

昔、中国の北齊の蘭陵王長恭は、才知武勇にして非常に美男子であったため、戦いに臨んでも、兵が戦をせず將軍に見とれてばかりで、士気が上がらなかった。そこで恐ろしい容貌の面をつけ戦に臨んだところ、見事に勝利を収めた。その勝利を讃え、將兵たちが「蘭陵王入陣曲」を作って歌い、敵を打ち破る有り様を舞とした。雅楽の代表的な舞楽の一つであり、非常に勇壮な舞である。